

とうきょう すくわくプログラム



つぼみ組（2歳児）（第11回目）1月29日

【活動内容】『冬の自然ってなんだろう？』

園庭で子ども達と好きな自然物を集める。集めた葉っぱや木の皮などを「みえるもん」という機械で拡大して観察しました。

【活動の為に準備した素材や道具・環境設定】

牛乳パックバック、みえるもん、プロジェクター、スクリーン

【子ども達の姿と発見】

いつもは何となく見ている葉っぱなどもミクロの視点を見てみることで新しい発見に繋がる姿がありました。例えば、形や穴、色など「びりびりだね」「ぎざぎざしてる」「ここはきいろだね」と表現していました。

※今回はみえるもんで自然物を観察し、視覚を大切にみた感覚を言葉で表現する姿がありました。次の活動では手、身体を使って、自然物の感触を楽しむ活動をしていきたいと思います。

【活動内容】『箱の中はなんだろう？』（第12回目/2月19日）

中身が見えなくした箱に自然物を入れて感触を楽しむ活動をしました。石や、どんぐり、枯れ葉などを入れて手先で感触を確かめてそれを言葉で表現していききました。

【活動の為に準備した素材や道具・環境設定】

自然物（石・どんぐり・葉っぱ・枝等）、中身が見えなくした箱、ペットボトル、缶箱、ボール

【子ども達の姿と発見】

最初は箱の中に慎重に手を入れ、指先の感覚に集中する姿が見られました。「どんな感じ？」と問いかけると、石を触ると「つめたい」「なんかさんかくみたい」と形や温度に反応したり、枝を「ごぼうみたい」と例えたり、枯葉の「パリパリ」「ちくちく」といった音や感触の変化を捉えていました。箱から出した瞬間の答え合わせでは想像していたものと実物が一致し、喜びを表現する姿が見られました。子どもたちの言葉を「〇〇だね」と復唱しながら、言葉にする楽しさを味わえたと感じています。

※次回の活動では、当初に子ども達と牛乳パックで作ったバックに好きな自然物を入れる活動をしました。今もその牛乳パックのバックは手元に残っています。前回の活動では、見えなかった色や形等を楽しみましたが、1年経った日々での自然物への興味関心の探求を楽しんでみたいと思います。

